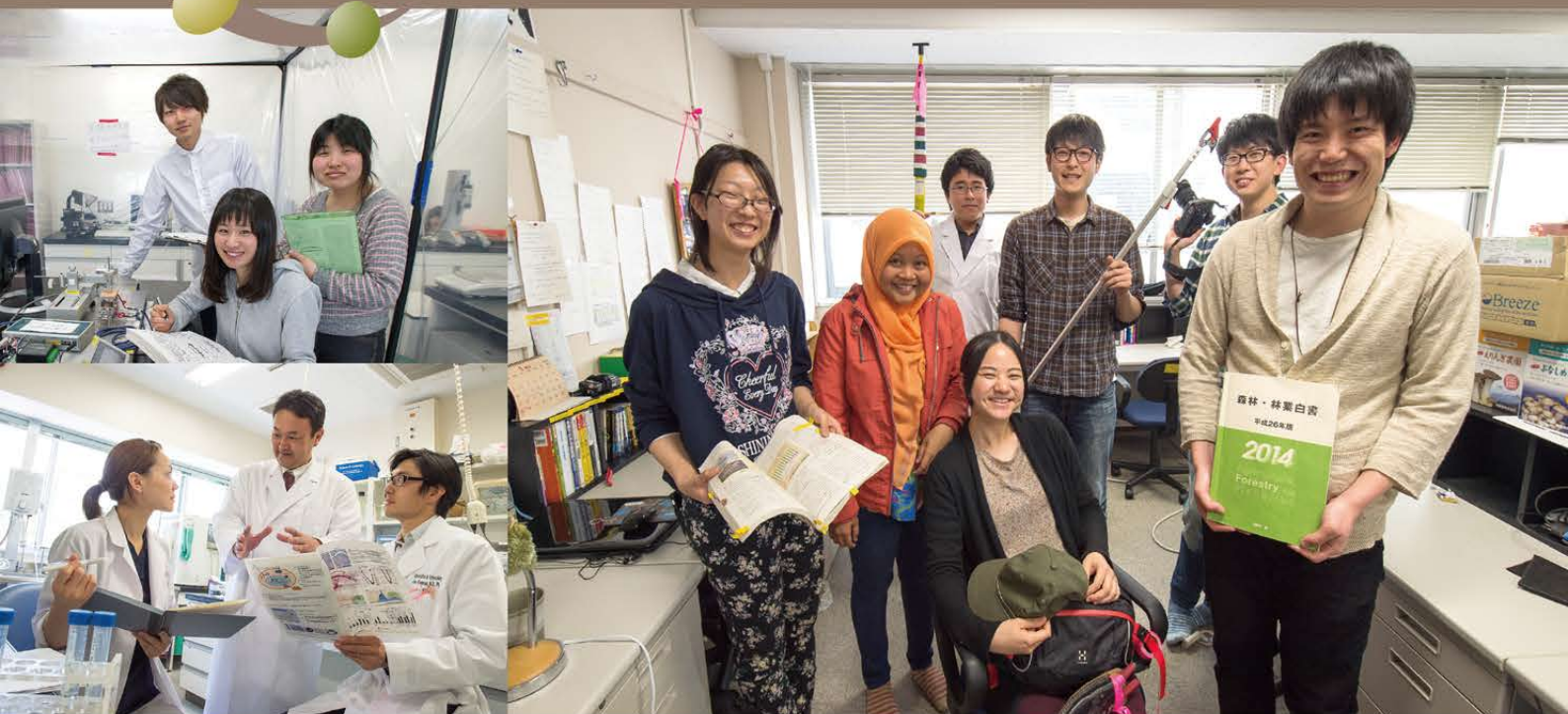


校友会 会報

YAMAGATA
UNIVERSITY
KOYUKAI

ご挨拶

校友会の役割を考える

校友会副会長 山形大学教授
神戸 士郎
(担当分野：工学)

工学部副学部長の時より引き続き、校友会副会長を仰せつかっている神戸士郎です。

校友会の前に大学の役割を考えます。2010年、山形大学工学部百周年記念誌編集委員を拝命して勉強するうち、ライフラインが工学部に重大な関わりを持っていることを発見しました。

上杉鷹山に端を発する燃糸織物産業が米沢で盛になると、明治後期にそれがさらに発展、動力源としての電力が必要となり、米沢水力電気株式会社（米沢水電気）が発足します。山形県初の電力会社の誕生です。電柱が建てられ、電線が小野川から



研究室で論文作成中

館山、矢来、直峰経由で市内につながりました。米沢新聞には、明治31（1898）年12月11日送電開始、市内電飾が明るく輝くと、見物人から大歓声が沸き上がり、人垣に押されて川に落ちる者もいた、と記載があります。

日露戦争後の明治38（1905）年、官立高等工業学校の誘致が持ち上がると、山形県会は最適地を米沢に決定、文部・内務大臣へ請願書を提出しました。電気というライフラインが大学を米沢に呼び込んだのです。

司馬遼太郎氏は、「街道をゆく（本郷界限）」において、大学や旧制専門学校が、西洋先進文明を取り入れ中央から地方へ浸透させる配電盤であったと述べ、明治期における大学・旧制専門学校の役割を看破しています。役割はそれからどう変わったのか。文科省は平成24年、大学改革実行プランで、「社会改革のエンジンとなる大学」を打ち出しました。表現は違っても、社会をリードする役割は、百年前と全く変わっていないと思いませんか。

平成28年、校友会は十周年を迎えますが、経験豊かな会員や若手の元気旺盛な会員の協力をえて、エンジンがさびつかないようチューニングするのが校友会の役割だと考えています。これからも引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

卒業生講演会

「活躍する山形大学卒業生 ～私にとっての山形大学とは?～」を開催しました。

平成27年12月5日(土)に、山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館教室を会場に、地域教育文化学部同窓会と山形大学校友会との共催事業として『「山形大学卒業生講演会」活躍する山形大学卒業生～私にとっての山形大学とは?』を開催しました。

青年海外協力隊での活動経験者でもある田中文香さん、高等学校での音楽指導など、広く音楽活動を展開する鈴木集さん、マレーシアからの留学生として山形大学で学んだモハメド ナ

ジュワ ビン アブ ハッサンさん、障がい児ら子どもさんたちへのヒップホップダンス指導などを通して地域で活動する菊地将晃さんの4人の若手卒業生をシンポジストとしてお招きしました。そして本学の卒業生でもある齋藤学准教授(地域教育文化学部担当)に座長を務めていただいたシンポジウムには在学生をはじめ、募集人数を大きく上回る約70名の参加がありました。先輩卒業生からは後輩に向けて熱く熱く語られ、寒い中でしたが会場は熱気に満ちたものとなりました。



今回のシンポジウムを担当した「地域教育文化学部同窓会」木村康二会長からコメントをいただきました。

第3回となる「山形大学卒業生講演会『活躍する山形大学卒業生～私にとっての山形大学とは?～』」は、地域教育文化学部同窓会が担当いたしました。校友会事務局のみなさんのおかげで、大変楽しい企画となりました。また、4人のシンポジストの個性あふれる体験談と座長の齋藤学先生のお力により、充実したものになりました。私も思わず引き込まれ、もっともっと時間が欲しいと思いました。会場のみなさんも、聞きたいことが山ほどあり、たくさんの質問が寄せられました。このキャンパスで学んでいる一人一人が、シンポジストの言葉に自分の学びや学生生活について考えるきっかけを得ました。シンポジストの皆さんを囲んでの懇談会では、シンポジストと参加者、大学教員、大学関係者の交流が深められ、互いの人間関係が豊かになり、熱い思いとともにこれからの大きな財産になったようです。ありがとうございました。

「第1回山形大学若手卒業生の会(同窓会)」を開催しました。

平成27年12月19日(土)にキャンパス・イノベーションセンター国際会議室(東京都港区芝浦)を会場に、「第1回山形大学若手卒業生の会(同窓会)」を開催しました。

これは学部を超えて若手卒業生の皆さんに集まっていただく場を設け、参加者どうしの交流を通して卒業生の母校に対する想いを新たにするとともに、協力する体制を構築することを目的として校友会支援事業として開催したものです。

初めての開催となる今回は4学部16名の卒業生の皆さんが参加してくれましたが、事前の打ち合わせの段階から、母校である山形大学の先生の授業を受けたい、ワークショップを行いたいという希望があり、山形大学実践教育プログラム推進センターの栗野武文先生を講師として迎え、「これからのキャリアパスの最大化を考える」というテーマでのワークショップを行いました。今後の職場での人間関係や周囲とのコミュニケーションの上で多に役立つものが得られたのではないのでしょうか。

午後は同日に開催された「山形大学卒業生等首都圏ネットワーク」総会に参加された皆さんと合同の懇親会に参加し、大先輩の皆さんとの交流も深めることができました。

平成28年度には山形でも開催することを検討しています。

若手卒業生の皆さんは公私ともに忙しい世代であるとは思いますが、今後とも協力をお願いします。



先輩卒業生から

卒業生講演会でシンポジストを務めていただいた先輩卒業生から卒業生の皆さんへのメッセージを紹介します。



田中 文香さん

(千葉県四街道市立南小学校)
教育学部学校教育教員養成課程教科教育
コース小学校教員系 平成19年卒
平成19年度～21年度に青年海外協力隊
員(小学校教員)としてエクアドルに赴任

みなさん、ご卒業おめでとうございます。先輩卒業生として一言、はなむけの言葉を述べさせていただきます。

私は、大学4年生の時に、同じ教育学部の友だちが皆そろって教員採用試験を受ける中、青年海外協力隊に行くことを決めました。そして、南米エクアドルで2年間ボランティアとして活動してきました。

人と違った選択をすることは勇気がいります。でも、やりたいたいことを実現してこそ自分の人生を自分らしく生きることだと思うのです。

みなさんはこれから就職したり家庭を持ったりすることでしょう。どうか周りの人と比べたり、足並みをそろえることばかり意識したりすることなく、あなたらしい人生を歩んでほしいと思います。「みんなちがって、みんないい」のです。これからのみなさんの輝かしい前途を心から祈念いたします。



鈴木 集さん

(音楽講師(山形市立商業高等学校、県立寒河江高等学校)他)
大学院地域教育文化研究科文化創造専攻
平成23年修了

めでたく卒業・修了の皆様、いま皆様はいわば『学ぶ者の最上級生』から『社会の1年生』への変遷期という、漠然とした大きなワクワクのようなドキドキを持つ時期ではないかと思います。

これまで装備した武器でこれから約40年どう戦っていくのか…と考えるかもしれませんが、これからは学ぶことは出来ます。寧ろ、物事や自分自身について、これから感じる事が本当の発見であり習得ではないかと私はこの約12年を振り返ります。

頭や身体を、柔らかいスポンジから強固な石にする必要はありません。40年間、またそれ以上先も、飛び続け進化し続けていって下さい。そうすると、これから仕事になる事柄も、趣味、特技と呼ばれるものも区別なく楽しく、老いては人生も楽しくなっています。私も進化途中、どうぞ共に進んでいきましょう。



モハマドナジュフ ビンアブハッサンさん

(八洲電機株式会社)
工学部物質化学工学科 平成25年卒
マレーシア出身

山形大学の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。学生生活が終わった今、社会人になることをどう感じていますか? わくわくする人、不安を感じている人、ほっとしている人、様々な人がいるかと思います。今の気持ちを忘れずにいてください。社会に出たら学生時代にやっていたことを大切に、レベルアップすることが大事です。社会人になったらもう何かに縛られることなく自由に行動することができるので、自分の才能あるいは視野を広げると良いです。また、学生時代からの友達を大切にすることです。これからはどんなに一人の力で頑張るつもりでもいつか周りの助けが必要になる時期が来ます。自分が信頼できる相手、またはすべて理解してくれる友がすでに存在したら、絶対に絶対に逃さないで欲しいです。自分なら大丈夫だと思っただけでも、これから長い人生には誰だって頼るときがあると思います。周りに追い詰められて出口が見えなくなるときには、周りの力を借りてほしいです。頑張って向き合うことも大切ですが、逃げることも大事です。山形大学の名前をこれからもずっと背負っていくことになると思います。皆さんのご活躍を期待しております。頑張ってください!!



菊地 将晃さん

(株式会社ふらっと)
農学部生物環境学科地域環境化学講座
平成22年卒 HIP-HOP ダンスチーム
Kickin' Dance Fam 代表

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
今の私が皆さんに伝えたいことは、次の三つです。

I『人生の主人公は、他の誰でもなく自分』

どうせ生きるなら、ドラマチックな人生を描いて欲しいと思います。初めから順調な物語はなんの面白みもありません。逆境や苦難、挫折があるからこそ成功があり、自分だけの人生物語になります。

II『働く≠仕事』

心の通っていない仕事は、ただの作業です。自分は世の中をどうしていきたいのか。どんな未来を作っていきたいのかを考えて働くことが「働くこと」だと思っています。

III『笑う門には福が来る』

落ち込むことも、頭に来ることもあります。笑い飛ばせれば、心が晴れ、少し強くなります。そうすれば、もう怖いものはありません。笑顔は最強の武器です。皆さんのご活躍を心から願っています。

山形大学同窓会 一覧 (平成28年3月現在)

同窓会名	会長名等	連絡先
ふすま同窓会	会長 長沼 龍平	〒990-0034 山形市東原町1-9-4 ふすま同窓会館内 「ふすま同窓会」事務局 TEL・FAX: 023-633-9927 E-mail: fusumadosokai@yahoo.co.jp
地域教育文化学部同窓会	会長 木村 康二	〒990-0021 山形市小白川町1-13-27 地域教育文化学部同窓会館内 「地域教育文化学部同窓会」事務局 TEL・FAX: 023-633-0567
医学部医学科同窓会「蔵王会」	会長 山下 英俊	〒990-9585 山形市飯田西2-2-2 山形大学医学部医学科同窓会 「蔵王会」事務局 TEL: 023-628-5157 E-mail: yamada@zao-kai.jp
医学部看護学科同窓会「樹氷会」	会長 小林 淳子	〒990-9585 山形市飯田西2-2-2 山形大学医学部看護学科同窓会 「樹氷会」事務局 FAX: 023-628-5464 E-mail: juhyokai@n-yu.jp
一般社団法人 米沢工業会	理事長 山崎洋一郎	〒992-0038 米沢市城南4-3-16 山形大学工学部内 「一般社団法人 米沢工業会」事務局 TEL・FAX: 0238-22-7866 E-mail: yzkgkai@dipfr.dip.yz.yamagata-u.ac.jp
農学部鶴窓会	会長 佐藤 農一	〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23 山形大学農学部内 「鶴窓会」事務局 TEL・FAX: 0235-28-2897 E-mail: kakusoukai@kdp.biglobe.ne.jp

※学生さんや卒業生の皆さんからのご連絡をお待ちしています。

校友会事業の紹介 — 平成27年度 Part 1

平成27年度校友会支援事業のうち、既に終了したものを紹介します。

就職活動支援



企業研究バスツアー

「学生中心に行う優良企業訪問」の一環として、27名の学生が山形県内や宮城県内の4社を訪問しました。



OB・OG フォーラム

27企業から40名のOB & OGを講師として招き、学生120名が参加して情報交換会を行いました。



実践教育プログラム合宿型交流ワークショップ

18名の学生が参加し、面接練習やグループディスカッション等を行いました。



首都圏就職活動時のセカンドキャンパスの整備
新宿駅西口の近くに、学生が無料で利用できる「山形大学セカンドキャンパス」を開設しました。

各キャンパス大学祭への支援



八峰祭 (小白川キャンパス)



吾妻祭 (米沢キャンパス)



鶴寿祭 (鶴岡キャンパス)

課外活動支援



ビーチサッカー大会 in 庄内

3キャンパスから10チームの学生約100名が参加し、晴天の庄内浜で熱戦を展開しました。



山形大学駅伝大会

開学記念日(10月15日)に小白川キャンパス構内で開催し、男女混合8チーム、女子3チームが参加しました。

修学支援



実践教育プログラム英語合宿

留学生6名を含む30名が参加して英語でのワークに取り組むなど、2日間を英語だけで過ごしました。



校友会推薦図書コーナー

「後輩には是非、こんな本を読ませたい！」学生選書サポーターが119冊の図書を選定し、コーナーを設けるとともに「ビブリオバトル2015 in やまがた」を開催しました。



実践教育プログラム長期インターンシップに向けた現地研修

インターンシップに先立つ事前研修の一環として延べ30名の学生が山形県内の計8ヶ所の公的機関・施設等の現地視察を行いました。



大学間交流協定大学への派遣留学生校友会支援事業
8カ国の9大学に留学する17名の学生に支援金を贈呈しました。



グローバル化に向けた授業への修学支援
バルト三国（ラトビア、エストニア、リトアニア）での研修に参加した12名の学生に宿泊料等を支援しました。

山形大学 グローバル化支援

会員相互の 交流支援



卒業生の「人財バンク登録事業」を活用した学生支援事業

地域教育文化学部で2名、農学部で1名の先輩卒業生を招いて講演会を開催しました。

山形大学卒業生「人財バンク登録事業」をご活用ください。

本学の学生に対して講演や相談・就職アドバイス等を行っていただくため、校友会支援事業として「人財バンク登録事業」を行っています。
本学の各同窓会及び各学部へ候補者の推薦をお願いし、登録いただいた卒業生の皆様に本学の学生に対して講演や相談・就職アドバイス等を行っていただくという制度です。（現在、7人の卒業生に登録いただいております。）
山形大学と卒業生の皆さまとの繋がりがますます強くなることが期待されます。

各同窓会の紹介

鶴窓会関東支部

農学部同窓会は鶴岡の学び舎の鶴を冠して鶴窓会と名付けていますが、設立されたのは、最初の卒業生を送り出した昭和25年で、他の学部と比べると歴史も新しい同窓会です。当初は同窓会と云うよりも、同窓生と教職員、学生との連絡と親睦を目的とした会で、会長には学部長が就任されていたとことで、活動も活発には行われていなかったようです。同窓会としての活動に入るのは、昭和53年に会長が同窓生から選出されるようになり、「農学科の会」が発足して、「農学科会だより」が発行されてからです。同窓生による集まりは、各学科や卒論講座の仲間の間で、時折開かれていたようですが、本格的な同窓会としての活動は、同窓会の会誌である「鶴窓会だより」の発刊が第22号であることから、平成年代に入ってからで、その頃には、山形や北海道で支部も結成されていました。

しかし同窓生の多い首都圏では、同窓会としての支部結成の動きは起きていませんでした。本部でも是非首都圏で、支部を結成してほしい旨の話が持ち上がり、平成16年、昭和32年卒の高橋雅夫さんに支部を立ち上げて欲しいとの旨の連絡があり、そこで高橋さんが、当時首都圏在住の同窓生の有志を集めて、

関東支部の設立に向けて奔走し、平成16年11月設立したのが関東支部の始まりで、今年で、13年目の新しい同窓会の支部です。設立当初は三学科の首都圏在住の同窓生で始めましたが、徐々に範囲を広げて現在は静岡、長野、新潟まで含めています。農学部の卒業生は、現在物故者を除くと約8,250名で、その中の約20%強が、関東支部内に在住しています。毎年6月の第二日曜日（今年は第一日曜日）に東京サテライトで総会・講演会・懇親会を開くことにしています。是非この校友会会報をご覧ください。連絡先はEメール mashima@mx1.ttcn.ne.jp jimukyokutyouno 眞嶋事務局長です。



平成27年度山形大学卒業生等 首都圏ネットワーク総会が 開催されました

平成27年12月19日（土）にキャンパス・イノベーションセンター国際会議室（東京都港区芝浦）を会場に「平成27年度山形大学卒業生等首都圏ネットワーク総会」が開催されました。

東京ふすま会、地域教育文化学部同窓会東京、神奈川、千葉、川崎の各支部、米沢工業会から東京、埼玉、千葉の各支部そして鶴窓会関東支部から32名、更に、同日の午前中に開催した「第1回山形大学若手卒業生の会」参加者及び大学関係者など全体で60名余りが出席しました。

総会の後には、大場好弘理事・副学長による講演「山形大学の“いま”とこれからの挑戦！－卒業生の皆さまへお願いしたいこと－」、そして懇談会が開催され、若手卒業生による自己紹介や各同窓会支部等の代表による挨拶もあり、若手と先輩の卒業生とが飲みながら、食べながら大いに交流を深めました。



「各学部同窓会及び校友会と 山形大学との情報交換会」が 開催されました

平成27年9月28日（月）に「山形大学各学部同窓会及び山形大学校友会と山形大学との情報交換会」が開催されました。

この情報交換会は校友会の呼びかけにより開催されているもので、今回で9回目の開催となります。

小中学長（校友会会長）、安田、大場の両理事・副学長、各学部長、基盤教育院長、各同窓会長及び校友会副会長と各学部後援会長（校友会理事）が一堂に会して開催され、「たくましい山大学生を育てるための効果的な学生支援のあり方」や「各学部同窓会等と卒業生とを繋ぐ方法」等についての事例報告や熱心な意見交換が行われました。

山形大学における各機関の代表者が集い、意見交換を行う場として有意義な情報交換会となり、各機関においても可能なものから取り組んで行くことになりました。



懇親会ではジャグリング同好会がパフォーマンスを披露してくれました。

校友会事務局から同窓会支部総会等への出席状況(平成27年度)

校友会事務局から次の各同窓会・同窓会支部の総会等に出席し、卒業生の皆様と情報交換をさせていただきました。今後も各地の同窓会総会等に出席させていただき、同窓会との連携を一層深め、校友会の事業等にも反映して参りたいと考えています。

ふすま同窓会

平成27年度 ふすま同窓会総会	平成27年5月16日(土)
東京ふすま会 平成27年度理事会・総会	平成27年5月23日(土)
第19回 東京ふすま会「山大の集い」	平成27年9月26日(土)
ふすま同窓会95周年記念祭	平成27年10月24日(土)

地域教育文化学部同窓会

地域教育文化学部同窓会川崎支部 平成27年度定例総会	平成27年6月20日(土)
平成27年度地域教育文化学部同窓会東京支部総会	平成27年6月21日(日)
地域教育文化学部同窓会母校創立137周年祝賀行事	平成27年10月12日(月・祝)
第17回地域教育文化学部同窓会神奈川支部総会	平成27年10月31日(土)

一般社団法人米沢工業会

平成27年 米沢工業会神奈川支部総会	平成27年7月4日(土)
平成27年度 米沢工業会山形支部総会	平成27年7月11日(土)
平成27年度 米沢工業会 北海道支部総会	平成27年7月20日(月・祝)
平成27年度 米沢工業会宮城支部総会	平成27年9月4日(金)
平成27年度 米沢工業会東京支部総会	平成27年9月4日(金)
米沢工業会 山静支部 第21期総会	平成27年9月6日(日)
平成27年度 米沢工業会埼玉支部総会	平成27年9月6日(日)
平成27年度 一般社団法人米沢工業会定時総会	平成27年10月10日(土)
平成27年度 米沢工業会千葉支部総会	平成27年10月24日(土)
平成27年 米沢工業会TH会首都圏支部総会	平成27年10月31日(土)
平成27年度 米沢工業会東海支部総会	平成27年11月15日(日)
米沢工業会関西支部 平成27年度定例総会	平成27年11月21日(土)
米沢工業会TH会新年会	平成28年2月5日(金)

鶴窓会

平成27年度山形大学農学部鶴窓会代議員会	平成27年5月23日(土)
鶴窓会関東支部第12回総会	平成27年6月14日(日)
第9回鶴窓会関西支部総会	平成27年10月3日(土)

※このほか、医学部医学科蔵王会第7回支部総会(平成27年11月21日(土)開催)出席に係る同窓会事務局職員の旅費を支援しました。



山形大学校友会への入会について(申し込みのご案内)

－校友会に未だ加入されていない卒業生等の皆さんへ－

本会の趣旨にご賛同のうえ、別紙「払込取扱票」へ必要事項をご記入いただき、「郵便振替」によりお振込み願います。会費の納入により入会の申込みとさせていただきます。

会員となられた方には定期的に校友会会報(メールマガジンを含む)や山形大学の広報誌をお届けし、折々に山形大学の現況をお伝えしております。

1. 会員：生涯会費を納入いただいた次の方々です。

- (1) 本学の学生(保護者の場合を含む)
- (2) 本学の卒業生
- (3) 本学の役員及び教職員(退職者を含む)
- (4) 前項以外の本学に関係する者

2. 会費：10,000円(生涯会費)

3. 払込方法

所定の別紙「払込取扱票」によりお願いします。なお、ない場合は「校友会事務局」へご請求いただくか、郵便局に備え付けの「払込取扱票」をご利用ください。

また、その際、次の記入例を参考に、必要事項をご記入ください。

(通信欄記入例)

卒業生の場合：○年度卒業(修了)、○学部(大学院)

退職者の場合：退職時の部局名

趣旨賛同者の場合：趣旨賛同の旨表示、個人、法人名
メールマガジンの配信や各種行事等についての情報提供を希望される場合にはメールアドレスを記載願います。

4. 払込時期

入会申込みは、随時受け付けておりますが、新入生(学部、大学院共)については、入学手続き時において、諸会費等の納入と合わせて申込みをいただいております。

5. 振替口座(ゆうちょ銀行)

次の「山形大学校友会」名義の振替口座へお振込みください。なお、専用の「払込取扱票」以外の場合は、振込手数料を、別途ご負担いただくこととなりますのでご注意ください。

口座番号：02200-7-89697

山形大学大学歌

作詞：石先 麻美・難波 千鶴
作曲：大谷 靖夫
編曲：中村 康就

山形大学大学歌は、平成21年に創立60周年を記念し、歌詞の募集を行い、当時地域教育文化学部4年在学中の石先麻美さんと難波千鶴さんの作品が選ばれました。作曲は山形市出身の作曲家大谷靖夫氏に依頼し、平成22年3月に本学大学歌として制定されました。



大学歌
ダウンロードは
こちら

大学のホームページからも
ダウンロードができます。

- 1 春風に 希望をのせて
桜の光 仰ぎ見る
若葉の緑 きらめいて
力みなぎる 若き瞳
決意を胸に 手をつなぐ
我らが学び舎 山形大学
- 2 知を深く 真理を求め
語りあかそう 集い来て
星のまたたき 想い馳せ
学びを拓く 強き瞳
己を信じ 進みゆく
我らが学び舎 山形大学
- 3 はるかなる 未来を照らし
流れる川の 絶え間なく
日々を彩る 雪模様
次代を担う 明き瞳
夢を抱いて はばたこう
我らが学び舎 山形大学



山形大学学生歌「みどり樹に」

作詞：菅原 威
作曲：橋場 富蔵

- 1 みどり樹に 風がながれるように
さわやかな 若人のうたごえ
遠く海を越えて ひびくよ
世界の果まで われらの歌う 口唇に
友情の血潮は あふれる
- 2 大地から 草が萌えるように
たくましい 若人の生命は
高く峯を越えて
世界の果まで のびゆく
われらの輝く ひとみには
平和のねがい みなぎる
- 3 大空に陽が 輝くように
かぎりない 若人の夢は
はるか雲を越えて
世界の果まで とどくよ
結んだ腕で 新しい
未来を築く われらよ



※「山形大学大学歌」と学生歌「みどり樹に」は、YouTubeでもお聴きいただくことができます。

山形大学校友会メールマガジンを配信しています

校友会では、山形大学や校友会に関するさまざまな情報をお届けするため、山形大学校友会メールマガジン「みどり樹通信」の配信を行っています。

特に、会員である本学の学生さんはじめとなたでも配信（無料）を希望される場合は、校友会ホームページの専用ページからお気軽に申し込みください。（登録の解除や変更手続きも簡単です。）

また、卒業生の皆様には山形大学や学生への応援メッセージ、学生時代の思い出等についてのご寄稿を募集しておりますので、ぜひ事務局までお寄せください。

山形大学エンrollment・マネジメント部

山形大学校友会事務局

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

TEL:023 (628) 4867 FAX:023 (628) 4185

E-mail:ykouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〈校友会ホームページ〉<http://www.yamagata-u.ac.jp/ykouyu/>